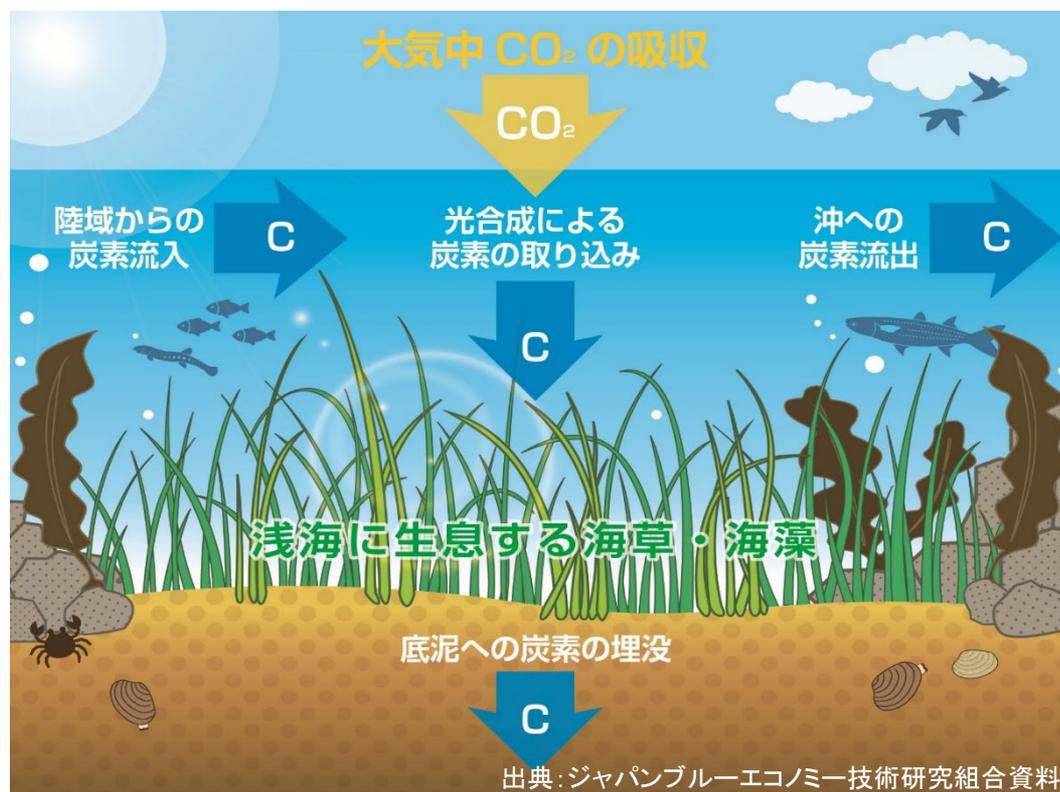


特別セッション S2 ブルーカーボン生態系の増殖技術

国土交通省 国土技術政策総合研究所
沿岸海洋・防災研究部 海洋環境研究室 室長 岡田 知也

本セッションの趣旨説明

- ▶ 脱炭素社会への取り組みが加速するなか、沿岸域における温暖化緩和策としてCO₂の吸収源対策であるブルーカーボンが注目されています。
- ▶ ブルーカーボンを促進するためには、海草・海藻等のブルーカーボン生態系を増やすことが鍵となります。



本セッションの趣旨説明

- ▶ しかし,
 - ▶ 富栄養化した海域では、光量不足や有機物の堆積による海藻の着生基盤の劣化が課題となっています。
 - ▶ また、富栄養化していない海域でも、食害や栄養塩不足等が課題となっています。
 - ▶ 加えて、温暖化に伴い、水温上昇や在来種以外の新たな食害生物の対策が、今後ますます必要になると考えられます。



細粒分の堆積



ウニによる食害



付着生物との競合

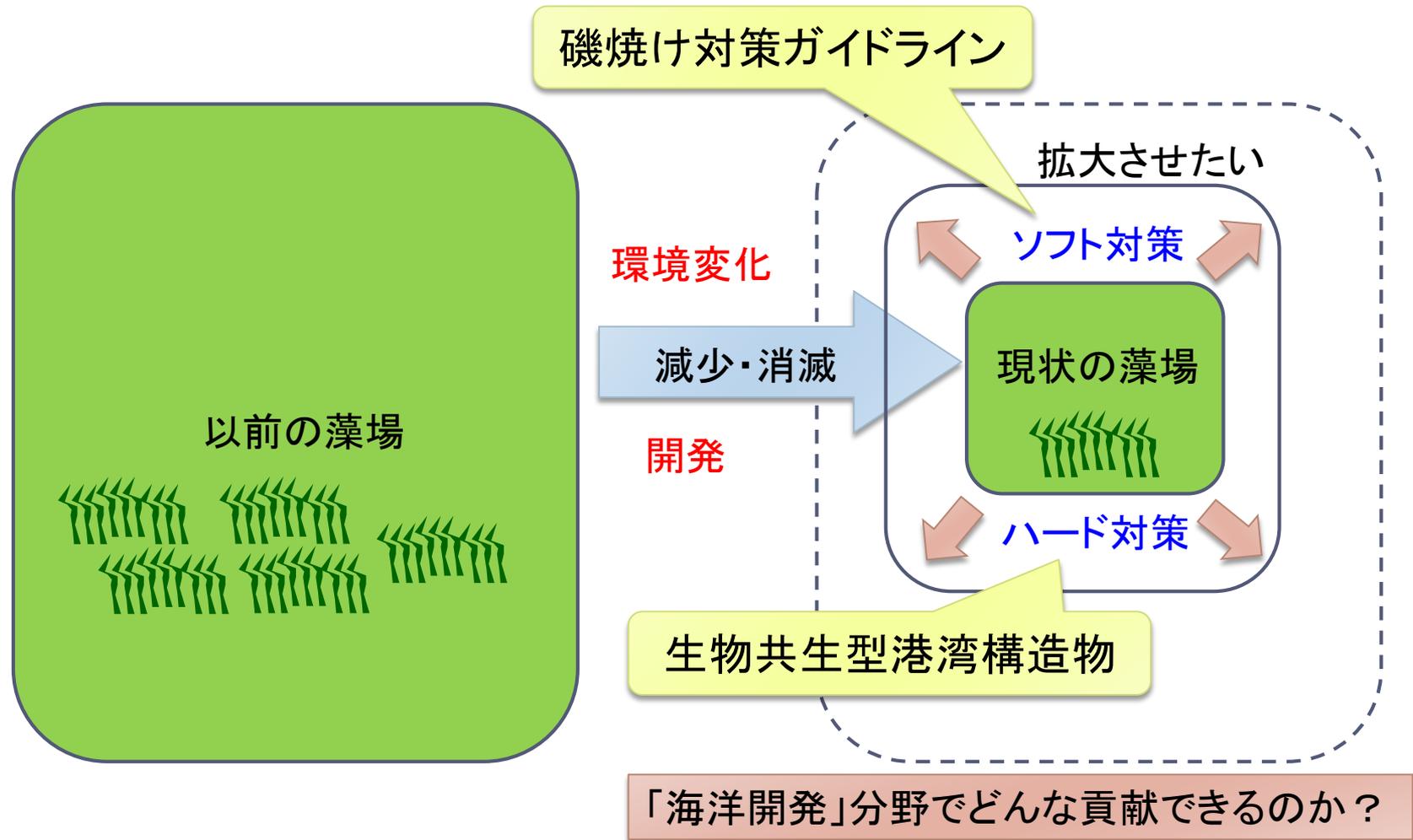
本セッションの趣旨説明

- ▶ これらの課題に対して,
 - ▶ 有機物が堆積し難い被覆ブロック
 - ▶ 食害を防ぐブロック形状
 - ▶ 海藻の着底を促すブロック形状や表面形状
 - ▶ 海藻の成長を促す構造物の材質

など様々な技術開発が、港湾、漁港、海岸だけでなく洋上風力発電施設等において検討されています。

- ▶ そこで、本セッションでは、ブルーカーボン生態系の中で藻場に着目し、**工学**
的な視点から藻場の増殖技術について、幅広い議論を行いたいと考えています。

本セッションの趣旨説明



セッション構成

▶ 趣旨説明

▶ 構造・形状

1. S2-1 : [着定基質の素材と形状](#)を工夫した藻場造成技術に関する実験的検討とCO2吸収ポテンシャルの推算
2. 口頭発表のみ : ブルーカーボン生態系の活用に向けた[直立港湾構造物](#)への海藻着生技術の検討
3. S2-2 : 震災海域における[海藻とウニの共生技術](#)の開発
4. 口頭発表のみ : [防波堤改良](#)における藻場造成の取り組み

▶ 材質

1. S2-3 : [貝殻配合フライアッシュ混合材料](#) (FSB:FA-Shell Block) の藻礁資材としての開発
2. S2-4 : [溶融スラグ](#)の干潟造成材としての利用可能性に関する基礎的検討

▶ 総合討論